

教材の作成と講義の試行に関する研究

研究分担者 R・C Vergin 愛媛大学国際連携推進機構教授

研究要旨

ミャンマーの大学で日本式の安全講習会を開催するために、モービー工科大学と講義内容の詳細な打ち合わせをもとに、作成したオリジナルの教材の英文校閲を行い、英文の教科書として完成させた。さらに、海外での使用を考慮して、冊子版と電子書籍版の2種類の形態の教科書を出版社から発行した。

A. 研究目的

1. 日本式安全衛生教育をミャンマーの大学に提供するために作成した教材の英文校閲を行い、教材を作成する。

B. 研究方法

研究分担者により作成された教材を研究分担者とともに内容を確認しながら英語の校閲を行った。さらに、ミャンマーの実情にあわせるために、モービー工科大学の担当教員と連絡を取りながら内容の調整、教材全体の文体や表現方法の統一をおこない、英文の教科書を編集した。さらに、冊子版及び電子書籍版の2つの形態の教科書として出版した。

C. 研究結果

令和2年度は、コロナウイルス感染症拡大のため、予定下板ミャンマーへの訪問と完成した教科書を使ったセミナーが実施できなかった。また、インターネット環境が十分にいきわたっていないので、日本からの遠隔セミナーも実施が困難であった。

教科書は、作成段階から何度もモービー工科大学の学長や担当教員との間で打ち合わせを行った。原稿内容は何度もモービー工科大学の担当教員に確認してもらい、ミャンマーの実情に合わせた教科書になるように編集した。

最終的に、30分の講義時間で8回分のアクティブラーニングの手法を使った講義に適するように調整し、英語の校閲と英語表現の修正を行なうとともに、文体や体裁の調整を行い、完成させた。この教科書は、海外での利便性を考え、冊子版と電子書籍版を出版社から発行した。

D. 考察

これまでの試行から改善した安全衛生教育教材とカリキュラムを実施するために分担者全員でミャンマーの工科系大学で使用できるテキストを作成した

安全衛生概念が未発達な国情を考慮して、このテキスト作成で特に意識したのは、なぜ安全が必要なのか？という点を強調し、さらに日本の安全衛生教育現場の初任者向けの安全衛生の最も基本的な内容に限定して、①なぜ安全衛生が必要なのか、②リスクマネジメント、③安全を守るための組織と行動に限定してテキストを作成した。

この教科書は、国内では、留学生や技能実習生の安全教育にも利用できるものである。

E. 結論

ミャンマーの工科系大学に初心者向け日本式安全衛生教育をミャンマーでミャンマー工科大学の教員が学生に教える時に使用する教科書を作成し冊子版と電子版を発行した。

F. 研究発表

1. 論文発表 : なし
2. 学会発表 :
研究代表と同じ

G. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得 : なし
2. 実用新案登録 : なし
3. その他 : なし